

雨の強さと降り方

降っている雨を観察することで、おおよその雨量を知ることができます。危険な状態になる前に自分で判断して避難ができるよう、雨の降り方と雨量の関係を知っておきましょう。

1時間雨量(mm) 予報用語	10~20mm やや強い雨 ザーザーと降る。地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	20~30mm 強い雨 どしゃ降り。傘をさしていてもぬれる。	30~50mm 激しい雨 バケツをひっくり返したように降る。	50~80mm 非常に激しい雨 滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)。傘は全く役に立たなくなる。	80mm以上 猛烈な雨 息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。
-------------------	---	--------------------------------------	--------------------------------------	--	---

集中豪雨

集中豪雨とは、同じような場所で数時間にわたり激しい雨が降り、100mmから数百mmの総雨量をもたらす大雨です。積乱雲が同じ場所で次々と発生・発達を繰り返すことによって引き起こされます。

集中豪雨は、中小河川の氾濫や土砂崩れ、崖崩れなどの大きな災害の発生につながることがあります。

竜巻・激しい突風

竜巻など突風は、狭い範囲で突発的に発生することが多いため、大雨などよりも発生の予測が難しいとされています。

竜巻は積乱雲が発達すると発生する可能性が高まるため、空模様の変化を感じたら竜巻注意情報を確認しましょう。そして、竜巻注意情報の発表から約1時間は注意を続けてください。

なお、竜巻のほかにも激しい突風をもたらす現象として、ダウンバースト、ガストフロントなどがあります。



前兆現象

<積乱雲の前兆現象>

黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。
ヒヤッとした冷たい空気が噴出する。
大量の雨やひょうが降り出す。

<竜巻の前兆現象>

雲の底から地上に伸びる漏斗状の雲が見える。
飛散物が筒状に舞上がる。
いつもと違う「ゴー」という音がする。
気圧の変化で耳に異常を感じる。

竜巻からの避難行動

<屋外>

頑丈な建物の中に避難する。物置や車庫、プレハブの中は危険。
頑丈な構造物の物陰に入って、身を小さくする。
建物内への避難が間に合わない場合は、物陰やくぼみに身を伏せる。

<屋内>

家の1階で中心部に近い、窓のない部屋に移動する。
雨戸、窓を閉めてカーテンを引く。
頑丈な机の下に入り、頭と首を守る。

要配慮者利用施設について

「洪水浸水想定区域」、「土砂災害警戒区域」に位置している要配慮者利用施設(※)では、避難確保計画の作成が義務付けられています。

※地域防災計画に位置付けられている施設が対象
「足利市 要配慮者利用施設」で検索



ハザードマップのデータについて

今回のハザードマップに使用している洪水浸水想定区域図等のデータを河川ごとに確認したい場合は、こちらからご確認ください。

「足利市 洪水浸水想定区域図」で検索



洪水災害

水害

水害とは、水によって引き起こされる災害のことです。氾濫(外水氾濫、内水氾濫)も水害と呼ばれます。



洪水

洪水とは、大雨などにより川の水量が普段よりも著しく増えた状態をいいます。

通常時に河原へ行くと広い敷地のわりに中心部しか水が流れていませんが、川幅いっぱいになり水が押し寄せると、広い河原も水の下に隠れて見えません。このような異常に水量が増えたときを「洪水」といいます。

氾濫

氾濫とは、雨などにより住宅地や農地などに水が溢れることをいいます。

川から水が溢れることを「外水氾濫」といいます。川から水が溢れるのではなく、住宅地や農地などに降った雨がそのまま溜まって溢れることを「内水氾濫」といいます。

<外水氾濫の種類>

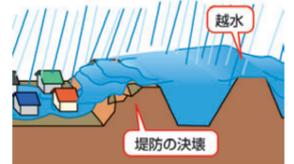
破堤

洪水や降雨などの外力に対して、堤防が耐えられなくなって崩れる現象です。



越水

降雨によって河川の水量が増加し、堤防から水が溢れる現象です。



風水害への備え

<側溝や雨水ますの清掃>

側溝や雨水ますと集水口を掃除し、雨水がスムーズに流れるようにしましょう。
側溝などの上に物を置かないようにしましょう。



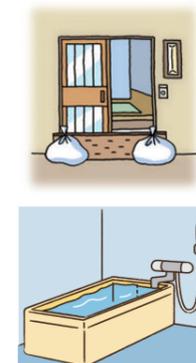
<屋外の対策>

物干し竿や鉢植えなどは家の中にしまおうか、しっかりと固定しましょう。
プロパンガスボンベやエアコンの室外機などは、しっかりと固定しましょう。



<屋内への浸水防止>

出入口などに止水板や土のうを置いて、水が入り込まないようにしましょう。
トイレや浴室、洗濯機などの排水口の上に水のうを置き、下水の逆流を防ぎましょう。
浴槽の水は流さずに溜めておきましょう。下水の逆流が防げるほか、生活用水として利用できます。



<浄化槽の確認>

土砂や泥の流入を防ぐため、浄化槽の蓋が閉まっているか確認しましょう。
浄化槽のプロアー(ポンプ)の電源を落とし、高い場所に移動させましょう。



<車の移動>

駐車場が低地や地下にある場合は、車を高台などの安全な場所に移動させましょう。



<窓の対策>

飛来物による破損から守るために雨戸を閉めましょう。雨戸がない窓にはガラス貫通防止用フィルムなどを貼りましょう。



<屋内の対策>

万が一の浸水に備えて、家財道具や大事なものを上階や高くて安全な場所に移動させましょう。

